

令和4年度 笠置町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 活用実績

総事業費：60,006,475円、交付金充当額：59,189,171円

事業名		事業概要	執行額総額(円)	交付金充当額(円)
1	物価高騰等対策事業	コロナ禍において原油、物価高騰による家計への負担軽減の為、全住民へ商品券を配布しました。さらに非接触による申請等に利用できるマイナンバーカード普及促進の為、マイナンバーカードを所有している方（新規取得者含む）に対して追加で現金給付を行いました。	29,403,098	29,403,098
2	地域福祉応援追加交付事業	0歳児から学校教育法の定める学校に在学している児童・生徒を対象に、コロナ禍における家計への負担及び原油価格・物価高騰による家計負担軽減の為、現金給付を行いました。	3,550,000	3,550,000
3	投票環境改善事業	コロナ禍における選挙投票体制の整備において、投票用紙を交付する際の人と人との接触を避ける為、投票用紙の自動交付機を導入し、感染対策を図ることが出来ました。	1,716,000	1,716,000
4	議場音響等システム改修事業	本町議場において、執行部側の答弁マイクについては演台の1本しかない環境にあり、そのため、コロナ禍における職員間の感染リスクの改善を図る為、マイク本数の増設を図ることとしてシステムの改修を行いました。加えて、CATVにて議会中継を実施している本町において、マイク増設をはじめとする音響機器等の改修を実施することにより、スムーズな議会運営になると共に、住民の自宅での議会中継視聴環境が整うことで傍聴者の人数を抑えることにも繋がり、議会傍聴来庁者の新型コロナウイルス感染症の飛沫感染リスクの低減を図りました。	18,260,000	17,819,076
5	入札参加資格審査システム整備事業	入札参加資格申請書の受付事務を電子化することにより、コロナ禍における来庁者の抑制、紙面提出による飛沫感染等の接触機会を減らし、感染防止を図ることが出来ました。	1,887,050	1,887,050
6	電子申告システム設置連携事業	確定申告の際、申告者は宇治税務署もしくは、近隣市町村まで提出している環境下にあった為、笠置町役場に電子申告システムを配備することにより、近隣市町村に向かわずして、申告できる環境を整備し、コロナ禍における感染リスクの低減を図りました。	486,750	486,750
7	学校保育特別対策事業費補助金	当時、全国的に新型コロナウイルス新規感染者数が急速に増加していた為、感染対策の一層の徹底が求められることなどを踏まえ、消毒液などの購入や、臨海学習における移動手段であるバス台数を増やすことで密とならないよう配慮しました。	81,050	41,050
8	会議環境改善事業	開催する会議において、新型コロナウイルス感染症の飛沫感染を防ぐため、人と人との十分な間隔を確保することから、発言内容が聞き取れないことを防ぐため、マイク・スピーカーシステムを導入し、飛沫感染防止と共に、会議の円滑な進行を担保することが出来ました。	90,090	90,090

事業名		事業概要	執行額総額(円)	交付金充当額(円)
9	町内循環バス購入事業 (令和3年度からの繰越)	住民の交通移動を維持することを目的に、小型の循環バスを購入しました。併せて本車輦に感染対策（セパレーター・抗菌・プラズマイオン発生機）を施すことで、安心安全な公共交通の運行を図ることが出来ました。	4,532,437	4,196,057